

平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月8日

上場会社名 株式会社ピクルスコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2925 URL http://www.pickles.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2998-7771
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	23,106	13.0	747	△16.0	776	△16.8	553	41.1
27年2月期第3四半期	20,440	3.8	890	29.2	933	18.5	392	△19.2

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 588百万円 (38.0%) 27年2月期第3四半期 426百万円 (△17.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	112.06	111.95
27年2月期第3四半期	63.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	16,968	7,854	44.3	1,491.08
27年2月期	15,761	6,554	41.5	1,394.19

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 7,509百万円 27年2月期 6,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年2月期	—	0.00	—		
28年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,150	5.0	1,207	14.3	1,243	13.2	701	39.3	149.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）県西中央青果株式会社、除外 ー 社（社名）
（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期3Q	6,398,000株	27年2月期	6,398,000株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	1,361,514株	27年2月期	1,703,514株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期3Q	4,943,213株	27年2月期3Q	6,146,876株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 追加情報	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績、雇用環境の改善などにより緩やかな景気回復基調となっているものの、個人消費につきましては、円安による物価の上昇や消費税増税後の節約志向などから、引き続き厳しい状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心、低価格志向が続く中、円安による原材料価格高騰への対応、フードディフェンスを含めた食の安全・安心への取り組み強化や価格競争の激化、少子高齢化への対応などが求められております。

このような状況のもと、当社グループは、全国の製造・販売拠点を活用した営業活動、CMなどの広告宣伝活動及び売場提案などの販売促進活動を積極的に実施し、既存得意先への拡販や新規取引先の開拓を行いました。

製品開発面では、「ご飯がススムキムチ」のリニューアル、榊湖池屋監修の「ご飯がススム カラムーチョキムチ」及び大人気キャラクター「ふなっしー」とのコラボキムチ「ご飯がススム ふなっしーの梨キムチ」、さといもを使用した期間限定商品「ご飯がススム さといもキムチ」などの開発を行い、販売を開始いたしました。

また、国産野菜の調達方法の多様化や国産野菜の産地における生育状況や取引価格動向などの情報収集の強化を目的として、県西中央青果㈱を平成27年6月に子会社といたしました。

売上高は、「ご飯がススムキムチ」などのキムチ製品や惣菜製品が好調に推移しました。利益については、春や秋の天候不順による野菜の生育遅れや品質低下の影響により、主要な原料野菜である白菜や胡瓜などが高騰し影響を受けました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は23,106百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益は747百万円（同16.0%減）、経常利益は776百万円（同16.8%減）となりましたが、負ののれん発生益の影響により、四半期純利益は553百万円（同41.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,207百万円増加し、16,968百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加及び受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて93百万円減少し、9,114百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加及び未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1,300百万円増加し、7,854百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年6月30日付で当社が県西中央青果㈱の株式を50.7%取得したことに伴い、平成27年8月31日をみなし取得日として同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 追加情報

(役員退職慰労引当金)

当社及び連結子会社における役員退職慰労金について、従来、内規に基づき算出した支給見込額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、平成27年2月期の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴い同日までの在任期間に対する退職慰労金を各役員の退任時に打ち切り支給することを決議いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、固定負債の「その他」（長期未払金）として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,533,604	3,013,315
受取手形及び売掛金	3,070,683	2,826,462
商品及び製品	145,994	145,279
仕掛品	43,914	45,228
原材料及び貯蔵品	193,325	222,591
繰延税金資産	54,003	54,035
その他	45,350	63,080
貸倒引当金	△2,992	△2,840
流動資産合計	5,083,885	6,367,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,747,227	2,663,067
機械装置及び運搬具(純額)	864,465	804,575
土地	6,153,556	6,198,651
リース資産(純額)	113,322	119,594
その他(純額)	35,627	42,731
有形固定資産合計	9,914,199	9,828,619
無形固定資産	64,058	56,002
投資その他の資産		
投資有価証券	440,168	457,778
繰延税金資産	161,915	159,428
その他	97,235	99,581
投資その他の資産合計	699,318	716,789
固定資産合計	10,677,575	10,601,410
資産合計	15,761,460	16,968,564

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,344,672	2,518,586
短期借入金	1,500,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	1,067,797	1,216,986
リース債務	52,823	44,414
未払法人税等	278,752	115,671
賞与引当金	87,735	39,301
役員賞与引当金	44,020	—
その他	986,759	1,062,525
流動負債合計	6,362,559	6,447,486
固定負債		
長期借入金	1,958,131	1,766,849
リース債務	86,271	82,606
繰延税金負債	16,439	19,431
役員退職慰労引当金	142,992	—
退職給付に係る負債	276,022	292,054
負ののれん	322,226	294,070
その他	42,479	211,589
固定負債合計	2,844,562	2,666,601
負債合計	9,207,122	9,114,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	740,900	740,900
資本剰余金	669,100	870,763
利益剰余金	6,303,582	6,787,086
自己株式	△1,259,485	△1,006,630
株主資本合計	6,454,097	7,392,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,924	117,693
その他の包括利益累計額合計	90,924	117,693
新株予約権	—	4,714
少数株主持分	9,316	339,948
純資産合計	6,554,338	7,854,476
負債純資産合計	15,761,460	16,968,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	20,440,886	23,106,920
売上原価	15,565,835	17,958,555
売上総利益	4,875,050	5,148,365
販売費及び一般管理費	3,984,912	4,400,665
営業利益	890,137	747,699
営業外収益		
受取利息	111	15
受取配当金	3,934	4,381
負ののれん償却額	28,155	28,155
持分法による投資利益	5,019	—
受取賃貸料	23,341	31,761
事業分量配当金	3,752	5,345
その他	16,519	22,017
営業外収益合計	80,834	91,676
営業外費用		
支払利息	14,920	11,983
持分法による投資損失	—	19,259
賃貸費用	17,778	21,430
その他	5,000	9,777
営業外費用合計	37,698	62,450
経常利益	933,274	776,925
特別利益		
補助金収入	27,553	26,940
負ののれん発生益	—	89,136
特別利益合計	27,553	116,077
特別損失		
固定資産処分損	23,379	5,960
減損損失	132,631	—
特別損失合計	156,011	5,960
税金等調整前四半期純利益	804,816	887,041
法人税等	408,321	325,265
少数株主損益調整前四半期純利益	396,495	561,776
少数株主利益	3,839	7,855
四半期純利益	392,655	553,921

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	396,495	561,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,054	26,885
その他の包括利益合計	30,054	26,885
四半期包括利益	426,549	588,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422,661	580,689
少数株主に係る四半期包括利益	3,888	7,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月15日付で、第三者割当による自己株式の処分を実施しました。この結果、当第3四半期連結累計期間においてその他資本剰余金が201,663千円増加、自己株式が252,854千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が870,763千円、自己株式が1,006,630千円となっております。